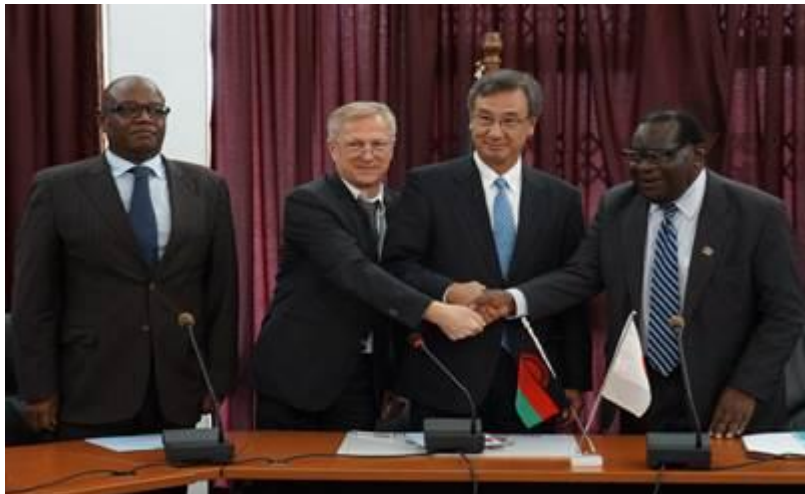


平成 27 年度補正予算
日本政府による人道支援

2016 年 2 月 24 日



左から:ゴンドウェ財務大臣、西岡駐マラウイ日本国大使。
西岡大使がメディア向けブリーフを行う様子



左から:ムドエ当地 UNICEF 事務所所長、マジ当地 WFP 事務所長代理。
西岡駐マラウイ日本国大使、ゴンドウェ財務大臣が握手を交わす様子

2016 年 2 月 24 日、西岡周一郎駐マラウイ日本国大使は、ムタリカ大統領からの洪水及び干魃による食糧不足への援助要請に応えるため、日本政府が WFP(国連世界食糧計画)及び

UNICEF(国際連合児童基金)の2つの国連機関を通じて総額730万米ドル(8億300万円)の人道支援を行うことを発表しました。

WFPは500万米ドル(5億5,000万円)の資金で、自然災害の被災者や難民への食糧援助を行うと共に、強靱性強化プログラム及び給食プログラムを実施します。UNICEFは230万米ドル(2億5,300万円)の資金で、急性重度栄養失調の子どもへの支援、コレラへの対策、村の診療所での子どもたちの健康診断、啓蒙活動等を全国の21県で実施し、栄養状態の改善を図ります。

日本政府は、過去3年連続で国連機関を通じたマラウイへの人道支援を実施してきました。2014年は210万米ドル、2015年には250万ドルの支援を行いました。